

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	交流・環境	26年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 事業推進課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成	成果	コスト			
事務事業名	中川運河緑地(堀止地区)整備事業	延伸	維持	維持	連絡先	052-654-7921
目的	対象(誰・何を)	中川運河(堀止地区)			事業期間	平成20~33年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	人びとが港の雰囲気を楽しむことのできる水辺空間を整備し、地域環境の向上を図ります。				
概要	整備場所:名古屋市中川区運河町、中村区運河町 内容・規模:「親しまれるみなと」を実現するため、市街地の貴重な水辺空間に緑地を整備します。用地を造成し、水辺周辺一帯を緑地(1.1ha)として整備(用地・護岸、緑地)します。 総事業費:12億円(平成23年度より11億円から変更) 事業手法:防災・安全交付金事業				根拠法令等	名古屋港港湾計画 中川運河再開発基本計画 中川運河再生計画
事業着手時点の評価	中川運河(堀止地区)において、訪れた人々が海や港の雰囲気を楽しむことができる水辺環境を活用した緑地整備することにより、地域環境の向上を図ります。費用対効果(B/C)は1.4です。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
27年度の実施予定	水辺一体の緑地整備として、堀止の西側約0.6haの用地造成を行います。				関連シート	中川運河再生計画の推進

2 DO(実施)

27年度に実施した内容・結果	用地造成(西側約0.6ha)を行いました。					
コスト	単位	25年度	26年度	27年度	合計(平成20年度~)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	213,500	93,420	61,800	706,499	
人件費	千円	14,294	8,016	7,046	74,940	
合計	千円	227,794	101,436	68,846	781,439	

3 CHECK(検証)

指標名		25年度	26年度	27年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業進捗率(%) (進行管理型)	目標	-	70.4	65.3	85.3(累計)		事業進捗率は、総事業費を100とした事業費の割合です。	周辺地区再開発
	実績	48.7	56.2	61.3				
	事業進捗状況(27年度)				順調・やや遅れ・遅れ			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	名古屋市関連事業と一体的な整備を進めており、順調に進捗しております。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	事業着手時に比べ必要性が低下していないか?	○ 堀止に隣接する名古屋市関連事業等と連携して地元のニーズを取り込みながら整備を進めています。						
	事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 中川運河(堀止地区)において、人びとが港の雰囲気を楽しむことのできる水辺空間を整備し、地域環境の向上を図ることは、上位施策である「うるおいと魅力のある港湾空間の形成」に貢献すると考えております。						
	期待どおりの成果が得られているか?	—						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 堀止に隣接する名古屋市関連事業等と連携して効率的に整備を進め、コスト削減に努めています。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	28年度以降の方向性			判断理由
	成果	コスト		
	継続	維持	維持	周辺開発(ささしまライブ24地区)の進捗に合わせて、西側の親水緑地の一部供用開始を平成29年度を目途に整備を進める必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。			
課題		28年度以降の取組		
名古屋市関連事業等と調整を図りながら一体的な緑地整備を進める必要があります。		引き続き、名古屋市関連事業等と連携して、平成29年度の一部供用を目指し、イベント開催に対応可能なオープンスペースを有する西側の親水緑地の整備を進めていくとともに、平成33年度の完成を目指し、関係者と調整しながら計画通り事業を進捗させます。		